

モノづくり極め高みへ

有力企業トップインタビュー



中村 道一 社長

「受注状況はいかがですか。」

「全般的に海外需要に引っぱられて順調に回復していたが、経済情勢の悪化から先行きは見通しにくくなっている」

「ニーズに変化はありませんか。」

「主力製品のコンベヤやハンドリング機器は自動車部品の生産ライン用が中心で、中国を中心に新興国で需要が伸びている。半面、国内では自動車生産が伸びないのでニーズは減っている。そこで、国内生産に続き、初めての海外生産として中国でも製品を組み立てる」

「中国生産の狙いや概

NKE

中国で生産 ニーズ`密着`

要は。

「ニーズのあるところで組み立て、納期の短縮や技術サポートの充実に努め、受注を伸ばす。現地法人を設立し、2012年6月に操業を始める。現地で細かくニーズを調べ、顧客や生産品目の拡大に取り組みたい」

「国内では東日本地域で攻勢をかけています。」

「さいたま営業所(さいたま市見沼区)の営業員と技術サービス員を拡充した。手薄だった東日本で技術サービス体制を強化し、新たな顧客の開拓に結びつけたい」

「製品開発の方針について聞かせて下さい。」

「技術と品質には強みがあるが、価格も安くないと競合メーカーに勝てない状況になっている。ユニットを組み合わせて簡易に生産できる仕組みや、社内業務の効率化を進め、価格競争力も高められるようにしたい」